

アジレントの高速かつ正確な農薬ソリューション 野菜中の農薬分析

食品安全性



高速昇温機能を備えた Agilent 5975T GC/MSD に、堅牢なサーマル・セパレーション・プローブ (TSP) とデコンボリューションレポート作成ソフトウェア (DRS) を組み合わせることで、農薬などの半揮発性化合物の正確な高速分析が実現します。

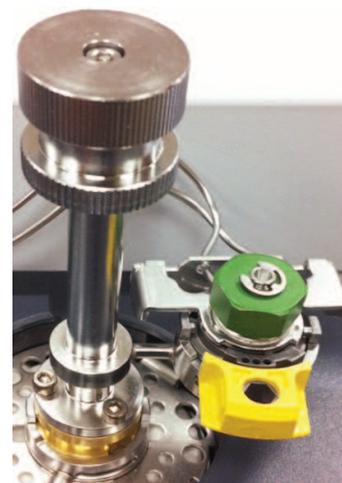
TSP は、サンプル前処理が簡単になり、迅速で堅牢、かつ安価なアプローチで、分析時間を最小限に短縮することができます。

可搬型 Agilent 5975T GC/MSD と DRS ソフトウェアを組み合わせれば、ラボにもオンサイトにも対応する正確かつ高速な農薬分析ソリューションが実現します。

迅速かつ確実な農薬分析を実現します。

農薬分析においては、分析品質を損なわずにコストを削減し、生産性を高めることがますます求められています。可搬型 Agilent 5975T GC/MSD とサーマル・セパレーション・プローブ (TSP) を用いることで、精製手順なしで前処理した野菜中の農薬を検出することが可能となります。高速のオープン昇温機能と高速冷却サイクルを備えた LTM 技術により、迅速な農薬分析が実現できます。

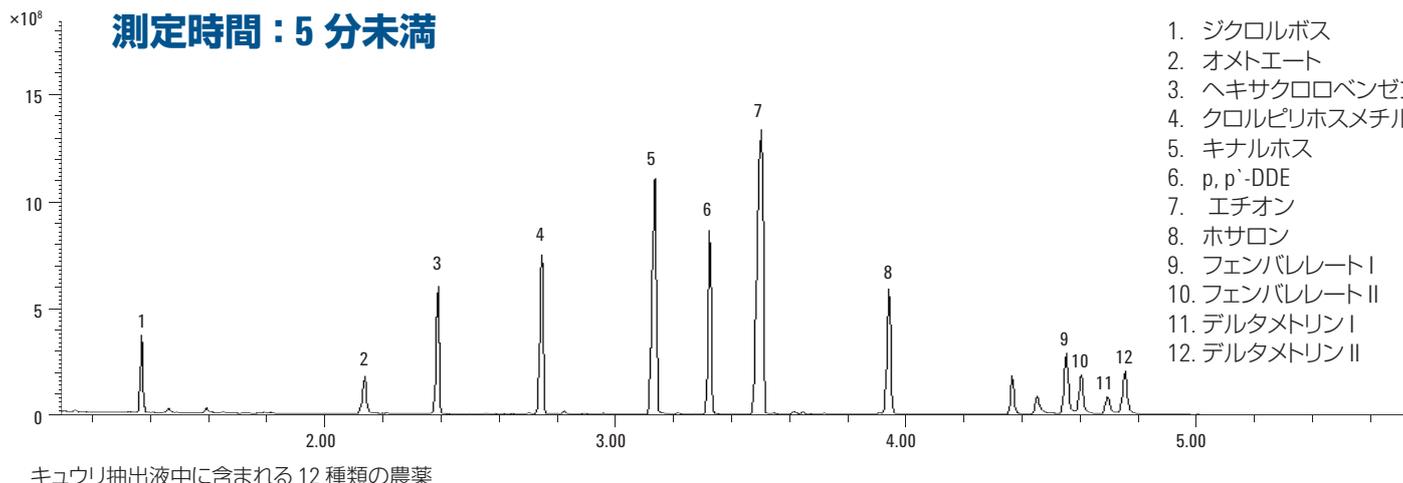
精製手順での前処理をおこなっていない複雑な抽出液には、多くの半揮発性マトリックス成分が含まれます。その中から分析対象化合物を検出するためには、選択性の高い検出テクニックが求められます。アジレントの DRS とリテンションタイムロッキング (RTL) 機能は、半揮発性マトリックスからターゲット化合物を短時間で検出するための優れたツールです。



おもな利点

- LTM 技術により、分析時間 5 分の農薬メソッドが実現
- 簡単に迅速なサンプル前処理
- Agilent サーマル・セパレーション・プローブ (TSP) により、複雑なマトリックスのサンプル前処理時間を短縮
- 干渉成分からターゲット化合物を検出する Agilent デコンボリューションレポート作成ソフトウェア (DRS)





簡単な QuEChERS 前処理メソッド

パート 1 QuEChERS 抽出手順例

1. ホモジナイズしたリンゴ 10 g を 50 mL 遠心分離管に入れる
2. サンプルを添加し、1 分間ボルテックスする
3. ACN 10 mL を添加する
4. MgSO₄ 4 g と NaCl 1 g (部品番号 5982-5550) を添加する
5. 内部標準 50 μL (TPP) を添加する
6. 30 秒間ボルテックスする
7. 5,000 rpm で 5 分間遠心分離する

**簡単でシンプルなサンプル前処理手順により、
前処理の所要時間が 25 分から最大 10 分にまで短縮されます。**

パート 2 QuEChERS 分散 SPE および精製手順は不要

必要なのは抽出手順だけです。分散 SPE 精製手順は省略できます。

ホームページ:

www.agilent.com/chem/jp

カスタマコンタクトセンタ:

フリーダイヤル 0120-477-111

本書に記載の情報は予告なく変更されることがあります。

アジレント・テクノロジー株式会社
 © Agilent Technologies, Inc., 2011
 Printed in Japan, September 16, 2011
 5990-8689JAJP



Agilent Technologies